

こんにちは！ 埼玉県立循環器・呼吸器病センターです。
とても暑い暑い日が続いていますが、みなさんいかがお過ごしでしょうか。熊谷の夏は暑いと有名ですが今年もかなり暑いんです。水分や栄養をしっかりとって、夏バテしないようにしましょう。
今回は、循環器・呼吸器病センターの取り組みについて紹介します♪



副病院長兼看護部長 株崎雅子

2025年7月より ICUとRCUの一体化！になりました。

ようこそ！スーパーICUへ ICU-RCU一体化への道

令和7年7月からICU-RCU一体化に伴い、特定集中治療室管理料1の病床が12床から20床へ増床し、所属する看護師は71名となりました。それぞれのスタッフが不安を抱えた中でのスタートでしたが、新たなICUの体制が徐々に整いつつあります。

『一体化』の名のもと、日々の業務の中での違いを統一し、多職種、他部門と調整を行いながら進めてきました。よりよいICUを作るために一人一人のスタッフが協力し合いながら働いています。変化を受け入れることや新しい知識・技術の習得は不安を伴いますが、新たな挑戦への機会でもあります。ICU、RCUそれぞれが今まで行ってきた専門性の高い看護を融合し、スタッフみんなで質の高い看護を目指していきたいと思います。皆さん、どうぞ新しいICUをよろしくお願いします！！



RCU・ICU



一体化



頑張ります♡

循環器・呼吸器病センターでは、各病棟での明るい職場づくりに取り組んでいます。
今回は、「病棟自慢」についてご紹介します。

4C病棟自慢

4C病棟は呼吸器内科の病棟です。化学療法や気管支鏡検査やHOT導入、痛みのコントロール、終末期の患者さんが入院しています。多忙な毎日ですが、病棟スタッフはみんな素敵な笑顔で丁寧な患者対応が自慢です！ラウンドをしていると、患者さんやご家族から「みなさんとっても優しく、安心しました」というお言葉を頂きます。そして、チームワークがとても良い！急な勤務や受け持ちの変更も快く引き受けてくれるので、とても助かります。

スタッフの笑顔と笑い声はステーション内の場を和ませ、温かな雰囲気を作り出します。「大丈夫？」「ありがとう」の思いやる声掛けがよく聞かれます。忙しいけど…4Cなら頑張れる！そんな病棟であり続けたいと思います。



CCU病棟自慢

CCUではチーム内の連携の強化に力を入れています。朝のカンファレンスでは、CCUの患者情報やベッド状況、カテテル室の当日の予定等、一日のスケジュールを情報共有しています。それぞれのリーダー間で密に連絡を取り合い、協力しながら業務がスムーズに進行するよう連携を図ることや、スタッフ間の活発なコミュニケーションにより医療安全を心がけています。また専門知識・技術の習得のため、年数回実施している急変時シミュレーションは、医師、放射線技師、臨床工学技士など多職種と共同で実施し、安全安心な医療、看護の提供に向け連携の強化に努めています。

